

# 網走式土器出土遺跡地名表

菅野友世

〒090 北見市高砂町2番3号 農林水産省北海道食糧事務所北見支所

## 凡例

- 遺跡名の収録にあたって  
原則として報告書等に表記された遺跡名を用い、資料が拓影・写真などで確認できるもの、または文書報告のみである資料についても管見の範囲で収録に努めた。
- 地名表の記載  
遺跡・所在地・立地・調査区分・備考・文献の順
- 所収文献  
報告者名・刊行年・書名（文献）・発行所の順に記載したが、3名以上の執筆者の場合は〇〇他とし、編集責任者が明らかな場合は〇〇編とした。
- 網走式土器名の変遷  
向陽ヶ丘式・向陽丘式・向陽式・向陽・大曲式土器などの異名と変遷がある。現在では、ほぼ網走式土器で統一されている。
- 網走式土器の特徴  
無文厚手の土器で繊維を含まず、細砂礫の混じりが認められ、平縁の口唇で頸部に隆起帯をめぐり、その上に棒状のもの、あるいは指頭などによって連続押圧した痕が特徴的である。
- 網走式土器の分布  
網走・常呂をはじめとするオホーツク海沿岸に局地的に出土し、内陸では旭川付近、道東の弟子屈、釧路地方に分布している。
- 備考欄  
報告書等で発表された土器名を記載したが、空欄はすべて網走式土器である。
- 網走式土器出土遺跡地名については、昭和54年（1979）に、久保勝範・菅野友世が『北見郷土博物館紀要』9に「北海道東北部に分布する網走式土器について」のなかで付表した。  
その後の出土遺跡を加えて、内容を新たにして「網走式土器地名表」としてまとめたものである。

## 網走式土器出土遺跡地名表

No	遺跡名	所在地	立地	調査区分	備考	文献
1	緑町 (緑町付近)	網走市緑町		表採 表採 表採	向陽丘式	19・21・22 13 22
2	向陽ヶ丘遺跡	網走市向陽ヶ丘		表採		16 35
3	明治	網走市明治		表採		11
4	大曲洞窟遺跡	網走市三眺	海蝕による自然洞窟 (標高 4.7m)	調査	無文	16

No	遺 跡 名	所 在 地	立 地	調査区分	備 考	文 献
5	大曲2遺跡	網走市大曲	網走川左岸の丘陵縁部 (標高10~20m)	調査	網走式土器に比定	38
6	三眺付近	網走市三眺		表採	向陽丘式	21
7	天都山遺跡	網走市天都山	急斜面の断崖上 (標高63m)	調査		36
8	釧茶路遺跡	網走市天都山		表採		22
9	湖莊付近	網走市呼人		表採	向陽丘式	21
10	呼人付近	網走市呼人		表採	向陽 (無文)	10
11	嘉多山2遺跡	網走市嘉多山	網走湖左岸台地周縁部 (標高20~30m)	調査	網走式土器に比定	37
12	藻琴神社境内付近	網走市藻琴		表採		4・5
13	神浦13遺跡	小清水町神浦		表採		15
14	常呂神社境内	常呂町弁天		表採		8
15	朝日	常呂町朝日	常呂川面した緩斜面 (標高20~40m)	表採	向陽式 (?)	27
16	トコロ貝塚 Aトレンチ Eトレンチ	常呂町朝日	能取湖西岸台地の裾に形成した砂丘上 (標高10~15m)	調査	第7類土器 (網走式土器・向陽ヶ丘式)	17
17	トコロチャシ 1号竪穴 2号竪穴	常呂町常呂		調査	第11類土器 (第7類土器)	17
18	トコロチャシ南尾根遺跡 5号竪穴 1200ピット群	常呂町東浜	常呂川右岸の段丘面 (標高60~80m)	調査	無文厚手 網走式であろう	31
19	岐阜	常呂町岐阜	岐阜台地東北部端 (標高20m)	表採	向陽式	27
20	岐阜	常呂町岐阜		表採	向陽	27
21	岐阜第二遺跡 17B号竪穴	常呂町岐阜		調査	無文土器 (従来の網走式土器)	32
22	岐阜第二遺跡 6号竪穴 8号竪穴 10号竪穴 12号竪穴	常呂町岐阜	岐阜台地の北縁に位置し、ライトコロ川に注ぐ小沢の東西	調査	向陽式 向陽式 向陽ヶ丘式 向陽式に近い	24 30 30 33

No	遺 跡 名	所 在 地	立 地	調査区分	備 考	文 献
23	岐阜第三遺跡 6・8号竪穴	常呂町岐阜	岐阜台地の西北端 常呂川下流域(標高 8~10m)	調査		28
24	五島神社付近	佐呂間町浜佐呂間		表採		6
25	東3号線東4線付近	湧別町東		表採		6
26	志撫子川西岸丘陵地帯	湧別町志撫子		表採		6
27	旭	上湧別町旭		表採	向陽式	1
28	5の3地域	上湧別町北兵村3区		表採		6
29	オムサロ遺跡	紋別市渚滑町川向		表採		14
30	不明	紋別市		表採		3
31	オニシ	雄武町川尻		表採		18
32	元町遺跡	美幌町元町		調査	向陽式	9
33	桜沢台地住居址	美幌町美富		表採		34
34	報徳台地遺跡	美幌町報徳		表採		34
35	鳥里日甜遺跡	美幌町鳥里		表採		34
36	豊岡住居址	美幌町豊岡		表採		34
37	開成6遺跡	北見市開成	常呂川右岸河成段丘 面最東端(標高7m)	調査	網走式土器である かもしれない	12
38	河向(北町)	下川町		表採	網走式類似	23
39	日の出207	旭川市東旭川町		表採	網走式類似	7・23
40	南弟子屈	弟子屈町南弟子屈		表採		25
41	昭栄小学校付近	弟子屈町熊牛原野		表採		26
42	開運町遺跡	標茶町	釧路川右岸の河岸段 丘上	調査		29
43	細岡	釧路町細岡		表採		2

(平成4年11月4日作成)

## 文 献

- 1 安部三郎 1958：湧別地方調査報告（略報）  
アイヌモシリ 1
- 2 阿部伸一・三喜 瞭・沢 四郎 1959：釧路  
村達古武沼周辺の遺跡探訪記 釧路博物  
館新聞 89
- 3 因幡勝雄 1979：紋別の先人たち 新紋別市  
史
- 4 及川健治 1960：藻琴方面の遺跡踏査報告  
科研資料 5
- 5 ——— 1968：藻琴の遺跡 考古あばしり  
特集号
- 6 大場利夫 1965：湧別町古代史 湧別町史
- 7 ——— 1968：考古（先史時代の遺物）北  
海道開拓記念物概要 2 北海道教育委  
員会
- 8 小野爾良 1965：常呂町に住んだ先史時代の  
人々 社会科学研究サークル資料
- 9 加藤 正 1956：美幌町元町遺跡 先史時代  
4
- 10 ——— 1958：北海道北東部地方の石刃鎌  
出土遺跡の概要とこれに関連ある石器等  
についての二三の考察 先史時代 6
- 11 菅野友世 1967：網走市明治出土の土器につ  
いて 北海道考古学 3
- 12 久保勝範 他 1982：北見市開成6遺跡発掘  
調査報告書 北見市教育委員会
- 13 河野広道 1958：先史時代篇 網走市史 上
- 14 ——— 1960：先史時代 紋別市史
- 15 「小清水を拓いた人々」編纂委員会 1968：  
小清水町内先史時代の遺跡 小清水を拓  
いた人々
- 16 児玉作左衛門・大場利夫 1955：網走市大曲  
洞窟出土の遺物について 北方文化研究  
報告10
- 17 駒井和愛 編 1963・64：オホーツク海沿岸  
と知床半島の遺跡 上・下 東京大学文  
学部
- 18 小柳正夫 1974：雄武町出土の土器3例 も  
うべっと（1973）
- 19 近藤 忠 1956：網走出土の鋸齒型石斧並び  
に宗仁式土器 先史時代 3
- 20 ——— 1956：最寄貝塚の魚類と燃糸文土  
器並びに無文土器 先史時代 4
- 21 ——— 1957：網走付近の石刃鎌文化と櫛  
目型文化 先史時代 5
- 22 ——— 1963：網走付近の網走式土器 ウ  
タリ 5-1
- 23 佐藤忠雄 1960：多寄 士別教育委員会
- 24 佐藤達夫 1960：6号竪穴 常呂
- 25 沢 四郎 1969：釧路川流域の先史時代 釧  
路川 釧路叢書 11
- 26 ——— 1987：釧路の先史 釧路叢書 24
- 27 東京大学文学部考古学研究室編 1972：常呂
- 28 ——— 1977：岐阜  
第三遺跡
- 29 豊原熙司 1983：開運町遺跡 標茶町教育委  
員会
- 30 藤本 強 他 1972：8・10号竪穴 常呂
- 31 藤本 強 編 1976：トコロチャシ南尾根遺  
跡 常呂町
- 32 ———・宇田川洋・武田 修 1982：岐阜  
第二遺跡（1981） 常呂町
- 33 丸田正数 1972：12号竪穴 常呂
- 34 三木 公 1972：先史篇 美幌町史
- 35 米村喜男衛 1962：向陽式土器 日本考古学  
辞典 日本考古学協会
- 36 ——— 他 1963：網走市天都山遺跡調  
概報 北海道の文化 特集号
- 37 和田英昭・米村 衛 1988：嘉多山2遺跡  
網走市教育委員会
- 38 ——— 1991：大曲2遺跡 網  
走市教育委員会